

朕沖繩縣酒類出港稅則ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十一年三月二十一日

内閣總理大臣 伯爵伊藤博文
大藏大臣 伯爵松方正義

勅令第十二號(官報三月二十二日)

沖繩縣酒類出港稅則

- 第一條 沖繩縣ヨリ酒類ヲ他府縣へ輸出スルトキハ出港稅トシテ酒類壹石ニ付金三圓ヲ賦課ス
- 第二條 出港稅ヲ徵收スルタメ那覇港ニ船改所ヲ設置ス
- 第三條 荷主ハ酒類ヲ他府縣へ輸出スルトキ出港稅ヲ船改所ニ納メ船積免狀並領收證ヲ受ケ船積スヘシ
- 第四條 船長ハ船積免狀ニ照シ酒類ヲ船積シ出港前ニ於テ其積石數ヲ船改所ニ届出ヘシ
- 那覇港外ノ地方ヨリ直ニ出航スルトキハ其地方役所ニ届出ヘシ
- 第五條 沖繩縣下ヨリ出港スル船舶ハ主任官吏ニ於テ檢査スルコトアルヘシ
- 但其官吏ハ主任官タルノ證票ヲ携帯スヘシ
- 第六條 出港稅ヲ納メス酒類ヲ他府縣へ輸出セントシテ船積シ又ハ輸出シタル者ハ出港稅金三倍ノ罰金ニ處シ仍ホ其酒類ヲ沒收ス既ニ賣捌キタル者ハ其代價ヲ追徵ス
- 第七條 第四條ノ届出ヲ爲サハル者ハ五圓以上五拾圓以下ノ罰金ニ處ス
- 第八條 主任官吏ノ檢査ヲ拒ム者ハ二圓以上二拾圓以下ノ罰金ニ處ス

第九條 此稅則ニ違犯シタル者ニハ刑法ノ減輕再犯加重數罪俱發ノ例ヲ用ヒス
 第十條 前條々ノ場合ニ於テ家族雇人及囑託ヲ受ケタル者又ハ乘組人ノ所犯ニ係ルモノト雖モ總テ其荷主又ハ船長ヲ處罰スヘシ
 第十一條 此稅則ハ明治二十一年十月一日ヨリ施行ス

除陸軍乘馬學校條例ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十一年三月二十一日

内閣總理大臣伯爵伊藤博文
 陸軍大臣伯爵大山 巖

勅令第十三號 (官報 三月二十二日)

陸軍乘馬學校條例

第一條 陸軍乘馬學校ハ騎兵隊ノ士官下士ヲ分遣シテ學生トナシ本科專門ノ馬術ヲ訓練シ馬學ヲ習修セシムル所トス
 第二條 本校ニ厩ヲ置キ所要ノ馬匹ヲ備フ
 第三條 本校ニ左ノ職員ヲ置ク
 校長 騎兵大中佐一人
 副官 騎兵大中尉一人
 教官 騎兵少佐一人 騎兵大尉二人 騎兵中尉四人
 一等獸醫一人 二等獸醫一人
 厩長 騎兵大尉一人

調馬手長 騎兵中少尉二人

軍吏 一人

軍醫 一人

獸醫 二人

第四條 校長ハ騎兵監ニ隸シ校務ヲ總理シ學術進歩ノ責ニ任ス

第五條 校長ハ懲罰權並ニ校附官僚學生ノ休暇付與權ヲ有スルコト聯隊長ニ同シ

第六條 副官ハ校中ノ庶務ヲ掌リ其下ニ下士若干員ヲ置ク

第七條 教官ハ學術ノ教授ヲ分擔ス

第八條 教官ノ下ニ助教ヲ置キ騎兵曹長同一等軍曹同二等軍曹若干員ヲ以テ之ニ充ツ

第九條 厩長ハ馬匹ノ調教其他校厩一切ノ事ヲ統轄ス

第十條 調馬手長ハ厩長ニ隸シ馬匹ノ調教ニ任シ其下ニ調馬手ヲ置キ騎兵曹長同一等軍曹同二等軍曹陸軍屬若干員ヲ以テ之ニ充ツ

第十一條 軍吏ノ下ニ書記若干員軍醫ノ下ニ看護長及看護卒若干員ヲ置ク

第十二條 學期ハ毎年概ネ二月ニ始リ十一月ニ終ルモノトス

第十三條 學生ノ人員ハ其時々監軍之ヲ定メ陸軍大臣之ヲ告達ス

第十四條 學生分遣ノ告達アレハ近衛都督鎮臺司令官ハ部下ノ騎兵大隊長ヲシテ士官下士中身體

強壯行狀方正勤務勉勵ノ者ヲ選定セシメ而シテ入校期十日前ニ其名簿ニ考科表ヲ添ヘ乘馬學校

長ニ送達スヘシ

第十五條 第一條ニ捫クル學生ノ外時宜ニ依リ官廨附騎兵科士官下士及砲兵隊輜重兵隊ノ士官ヲ

分遣シテ學生トナスコトアルヘシ

體操	測量	力學	圖畫	哲學	法學通論	理財學	天文	化學	物理	地質及礦物	動物及植物	數學
三				二		二			二	二		三
					二	二	一	二				
			三			二		二	四	二		三
			二	七	二		一	四	二			三
						二		二	四	二	二	三
					二		一	六	二		六	
三												

一部ニ於テハ第二外國語羅匈語ノ一科若クハ二科ヲ缺キニ部第二ニ於テハ第二外國語羅匈語哲學ノ三科ヲ缺キ若クハ圖畫測量ノ二科ヲ缺キ若クハ圖畫ノ時數ヲ減シテ羅匈語測量ノ二科ヲ缺クコトヲ得

第五條中理財學大意ノ次ニ左ノ如ク追加ス

法學通論
大意

○大藏省令第七號

本年三月勅令第十二號沖繩縣酒類出港稅則施行細則左ノ通相定ム

明治二十一年七月七日

大藏大臣 伯耆松方正義

沖繩縣酒類出港稅則施行細則

第一條 酒類ヲ他府縣へ輸出スル者ハ少ナクトモ出港二十四時以前ニ左ノ項目ヲ記載シタル書面

ニ税金相添へ那覇船政所へ申出其酒類ノ検査ヲ請ヒ船積免狀及税金領收證ヲ受クヘシ

- 一 酒類ノ種目及石數
- 一 出港稅額
- 一 容器ノ種類及箇數
- 一 荷主ノ族籍住所姓名
- 一 船名及船長姓名
- 一 出港地名

第二條 船政所ハ酒類ヲ検査スルニ當リ前條ノ書面ニ照シ石數不相當ト認ムルトキハ每容器ヲ開

キ實量スルコトアルヘシ

第三條 第一條ノ場合ニ於テ税金ヲ算出スルニハ酒類ハ各容器ノ枴量ヲ合計シ合位ニ金員ハ厘位

ニ止メ以下切捨ルモノトス

第四條 主任官船舶ノ検査ヲ爲シ犯罪ヲ發見シ若クハ犯罪アリト認知シタルトキハ其酒類又ハ犯

罪者ト認メタル者ノ出港ヲ差止ムルコトアルヘシ

第五條 出港差止中其酒類ヲ出港シ若クハ出港シタル者ハ貳圓以上貳拾圓以下ノ罰金ニ處ス